

令和7年度 京都市予算案 事業概要

消防局

事務事業名	桂消防出張所移転整備																				
予算額	149,000 千円	新規・充実・継続の別	新規																		
担当課	総務部 総務課(212-6635)																				
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的に進めている街路事業のひとつである山陰街道の整備に伴い、整備区域内に位置する桂消防出張所の移転が必要となっている。</p> <p>また、桂消防出張所は昭和54年の竣工から45年が経過し、施設の老朽化・狭隘化が進んでいる。</p> <p>以上から、山陰街道整備に伴う移転を契機に、消防力の適正配置をはじめ、時勢に応じた消防体制を確保することにより、市民のいのちと暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」の実現に向けた取組を推進する。</p>																					
<p>[事業概要]</p> <p>山陰街道整備に伴い、桂消防出張所を移転整備する。 令和7年度は、整備に先立ち、移転用地を取得する。</p> <p>【現庁舎】 場 所：西京区桂市ノ前町12 建築年：昭和54年 構 造：鉄筋コンクリート造3階建て（延べ241㎡）</p> <p>【移転予定地】 場 所：西京区桂西滝川町</p> <p>【整備スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>新庁舎</th> <th>現庁舎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度</td> <td>移転用地の取得</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>実施設計・地質調査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>建設工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>建設工事・竣工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td></td> <td>解体設計・解体工事</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	新庁舎	現庁舎	令和7年度	移転用地の取得		令和8年度	実施設計・地質調査		令和9年度	建設工事		令和10年度	建設工事・竣工		令和11年度		解体設計・解体工事
年 度	新庁舎	現庁舎																			
令和7年度	移転用地の取得																				
令和8年度	実施設計・地質調査																				
令和9年度	建設工事																				
令和10年度	建設工事・竣工																				
令和11年度		解体設計・解体工事																			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>																					

令和7年度 京都市予算案 事業概要

消防局

事務事業名	京都府南部消防指令センター整備																
予算額	5,190,000 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	継続														
担当課	総務部 総務課(212-6635)																
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>多様化する災害や社会環境の変化に適切に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制を整備・確立するため、消防指令センターの共同運用をはじめとする、消防の連携・協力が全国的に推進されている。</p> <p>京都府においても、京都府消防体制の整備推進計画（令和3年7月改定）の中で、消防指令センターの共同運用を優先取組事項に掲げ、安心・安全を守る消防力の確保・充実に向けて取り組んでいる。</p>																	
<p>【事業概要】</p> <p>京都府南部地域9消防本部の指令管制を一元的に処理する京都府南部消防指令センターを京都市消防学校内に整備する。</p> <p>1 参画消防本部 [本部数：9(計16市町村(8市7町1村)) 総管轄人口：約217万人]</p> <table border="1"> <tr> <td>第1期 (令和9年度運用開始)</td> <td>京都市消防局、乙訓消防組合消防本部、京田辺市消防本部、久御山町消防本部、精華町消防本部 (5本部)</td> </tr> <tr> <td>第2期 (令和12年度運用開始)</td> <td>宇治市消防本部、城陽市消防本部、八幡市消防本部、相楽中部消防組合消防本部 (4本部)</td> </tr> </table> <p>※ 各消防本部の既存指令システムの更新時期に留意し、2期整備方式を採用</p> <p>2 整備スケジュール</p> <table border="1"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>基本調査</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和6年度～8年度</td> <td>京都府南部消防指令センター整備【債務負担行為設定】</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>第1期運用開始(本市含む5消防本部での共同運用)</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>第2期運用開始(京都府南部全9消防本部での共同運用) ※第2期運用に伴い必要となる整備を令和11年度に実施</td> </tr> </table> <p>▶ 令和7年度の主な整備内容</p> <p>(1) 消防指令システム・消防救急デジタル無線システム等の整備</p> <p>(2) 庁舎改修(京都市消防学校の一部を消防指令センター仕様へ改修)</p> <p>3 総事業費</p> <p>約134億円(他の地方公共団体が負担する整備費負担金を含む)</p> <p>※ 基本調査・実施設計費を除き、令和11年度の第2期整備費を含む</p>				第1期 (令和9年度運用開始)	京都市消防局、乙訓消防組合消防本部、京田辺市消防本部、久御山町消防本部、精華町消防本部 (5本部)	第2期 (令和12年度運用開始)	宇治市消防本部、城陽市消防本部、八幡市消防本部、相楽中部消防組合消防本部 (4本部)	令和4年度	基本調査	令和5年度	実施設計	令和6年度～8年度	京都府南部消防指令センター整備【債務負担行為設定】	令和9年度	第1期運用開始(本市含む5消防本部での共同運用)	令和12年度	第2期運用開始(京都府南部全9消防本部での共同運用) ※第2期運用に伴い必要となる整備を令和11年度に実施
第1期 (令和9年度運用開始)	京都市消防局、乙訓消防組合消防本部、京田辺市消防本部、久御山町消防本部、精華町消防本部 (5本部)																
第2期 (令和12年度運用開始)	宇治市消防本部、城陽市消防本部、八幡市消防本部、相楽中部消防組合消防本部 (4本部)																
令和4年度	基本調査																
令和5年度	実施設計																
令和6年度～8年度	京都府南部消防指令センター整備【債務負担行為設定】																
令和9年度	第1期運用開始(本市含む5消防本部での共同運用)																
令和12年度	第2期運用開始(京都府南部全9消防本部での共同運用) ※第2期運用に伴い必要となる整備を令和11年度に実施																
【参考(他都市の状況・事業効果など)】																	

令和7年度 京都市予算案 事業概要

消防局

事務事業名	増加する救急需要への対応																		
予算額	77,000 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	充実																
担当課	総務部 総務課(212-6635)																		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>本市では、増加する救急需要に対応するため、救急隊の増隊や救急安心センターきょうと（#7119）による救急車の適正利用の促進など、各種施策を複合的に展開することにより、迅速・的確な救急搬送体制を確保してきた。</p> <p>一方、市内における救急需要は年々増加しており、令和6年中の救急出動は、過去最多の104,999件を記録した。この増加傾向は、高齢化の進展等に伴い今後も継続する見込みであり、市民等の安心安全を守る救急搬送体制を維持するための取組が求められている。</p> <p>特に、西大路消防出張所周辺の消防署・消防出張所に配置している救急隊の出動件数は、市内救急隊の中でも特筆して多い状況にあり、1分1秒を争う救急現場における現場到着時間の短縮や、救急隊員の適正な労務管理の観点から、同出張所への救急隊の増隊を進める必要がある。</p>																			
<p>【事業概要】</p> <p>増加する救急需要に対応するため、中京消防署に救急隊1隊を増隊するとともに、救急隊の適正配置に向け、西大路消防出張所の建替整備に着手する。</p> <p>① <u>救急隊の増隊 31,000 千円</u> 中京消防署に救急隊1隊を増隊する（運用開始：令和7年10月1日（予定））。 ※ 増隊する救急隊は、西大路消防出張所新庁舎竣工後、同出張所に配置を変更。</p> <p>② <u>救急隊の適正配置に向けた西大路消防出張所建替整備 46,000 千円</u>（債務負担行為設定） 西大路消防出張所への救急隊配置による救急搬送体制の強化を目指し、老朽化・狭隘化が進む同出張所を消防隊・救急隊の2隊配置の消防出張所として運用できるよう、現地における建替整備を行う。</p> <p>【整備スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新庁舎</th> <th>現庁舎</th> <th>仮庁舎*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度</td> <td>地質調査・実施設計</td> <td>解体設計・解体工事</td> <td>中京消防署内装改修・仮移転</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>実施設計・建設工事</td> <td>解体工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>建設工事・竣工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 整備期間中は、西大路消防出張所の機能を中京消防署に移転し、消防力を維持</p>				年度	新庁舎	現庁舎	仮庁舎*	令和7年度	地質調査・実施設計	解体設計・解体工事	中京消防署内装改修・仮移転	令和8年度	実施設計・建設工事	解体工事		令和9年度	建設工事・竣工		
年度	新庁舎	現庁舎	仮庁舎*																
令和7年度	地質調査・実施設計	解体設計・解体工事	中京消防署内装改修・仮移転																
令和8年度	実施設計・建設工事	解体工事																	
令和9年度	建設工事・竣工																		
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <p>1 安定的な消防救急体制確保のため、救急隊の増隊に合わせ、職員10人を増員する。</p> <p>2 救急隊の適正配置の観点から、現在中京消防署に配置している日勤機動救急隊は、中京消防署への救急隊の増隊に合わせ、配置場所を京都市立病院消防出張所に変更する。</p>																			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

消防局

事務事業名	DanX～消防団員の負担軽減と働き方改革に向けた検討～										
予算額	5,000 千円	新規・充実・継続の別	新規								
担当課	総務部 総務課(212-6635)										
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>消防団員の確保に向けては、若年層や女性等の幅広い住民への入団促進や消防団協力事業所表示制度の活用による事業所等との連携をはじめ、様々な施策を推進してきた。</p> <p>しかし、高齢化等の社会環境の変化を背景に、コロナ禍以降、消防団員数は減少の一途をたどっている。この現状に歯止めを掛け、消防団の更なる活性化を図るためには、今一度原点に立ち返って、消防団員の思いに寄り添い「やりがい」を高め、「負担感」を軽減する対策を講じることが重要となっている。</p>											
<p>【事業概要】</p> <p><small>ダンエックス</small> DanX（消防団トランスフォーメーションを略した造語）は、消防団が地域防災の中核としての役割を十分に発揮できるよう、デジタル技術の活用をはじめとする活動基盤の改善など、社会環境の変化への対応に取り組み、消防団員一人一人が「市民を、街を守る」やりがいのある活動に注力できる環境の実現、ひいては消防団員確保に向けた取組の活性化を目指す事業である。</p> <p>令和7年度は、本市の実情に沿った効果的かつ実践的な取組を進めていくため、消防団活動における課題の抽出や業務フローの整理などを目的とした調査を実施し、今後行うべき消防団員の負担軽減と働き方改革に向けた対策の検討を進める。</p>											
<p>【調査概要】</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全消防団員を対象としたアンケート調査 ※ オンラインも活用したアンケート</td> <td>全消防団員を対象とし、幅広い世代から多様な意見を収集</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> アンケート結果の集約／課題の抽出</td> <td>階級・年齢別など、本市消防団が抱える課題を多角的に分析・可視化</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 課題の深堀り</td> <td>業務フローの整理など、課題解決に向けた方向性を模索</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効な改善策の実現に向けた検討</td> <td>活動基盤の改善に向けた事業計画を策定 ⇒ 消防団員の負担軽減・働き方改革を推進</td> </tr> </table> <p>※ 一連の内容を調査事業者と連携し、専門的知見を取り入れつつ事業を進める。</p>				<input type="checkbox"/> 全消防団員を対象としたアンケート調査 ※ オンラインも活用したアンケート	全消防団員を対象とし、幅広い世代から多様な意見を収集	<input type="checkbox"/> アンケート結果の集約／課題の抽出	階級・年齢別など、本市消防団が抱える課題を多角的に分析・可視化	<input type="checkbox"/> 課題の深堀り	業務フローの整理など、課題解決に向けた方向性を模索	<input type="checkbox"/> 有効な改善策の実現に向けた検討	活動基盤の改善に向けた事業計画を策定 ⇒ 消防団員の負担軽減・働き方改革を推進
<input type="checkbox"/> 全消防団員を対象としたアンケート調査 ※ オンラインも活用したアンケート	全消防団員を対象とし、幅広い世代から多様な意見を収集										
<input type="checkbox"/> アンケート結果の集約／課題の抽出	階級・年齢別など、本市消防団が抱える課題を多角的に分析・可視化										
<input type="checkbox"/> 課題の深堀り	業務フローの整理など、課題解決に向けた方向性を模索										
<input type="checkbox"/> 有効な改善策の実現に向けた検討	活動基盤の改善に向けた事業計画を策定 ⇒ 消防団員の負担軽減・働き方改革を推進										
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>											